

Creativity Development

great books reading - encounter with the unknown

Ryuji Yorioka · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 後期 月 7・8

Target) 本を読む習慣をつけます。カーソンからル＝グウィン、宮澤賢治までの古今の名著を通して、未知なるものに触れる体験したいと思います。社会人の方も交えて一緒に考え、互いに読み方や考え方の違いに触れることで、現代に生きる意味についてより深い理解が得られるようにします。

Outline) 20世紀に書かれた評論・エッセイ、文学作品を中心に、今までの自分にとって未知の世界に触れることで、現代社会の様々な問題をより深く考察できるようにします。基本的には、一回の授業で一つの作品の一部を、受講生全員で読んでいきます。古今東西の名著(文学作品や随筆)を分野に捉われずにバラエティ豊かに取り上げ、線を引きながら一緒に読んで生きていきます。内容を確認したうえで、お互いに興味を引かれた箇所を披露しながら、理解を深めます。必要事項の検索ができるようにして、最後にはグループで発表を行います。また、図書館ツアーもする予定。

Keyword) 講読、読書、名著、未知

Goal) 読書の習慣をつけること。異なる価値観や考え方に触れることで社会性を身につける。

Schedule)

1. 授業ガイダンス
2. 文献リストの内容確認、作品のピックアップ(取り上げる予定の作品は、外山滋比古『読みの整理学』、カーソン『沈黙の春』、内田樹『先生はえらい』、サン＝テグジュペリ『星の王子様』、北条民雄『いのちの初夜』、村上春樹『海辺のカフカ』、河合隼雄『影の現象学』、ル＝グウィン『ゲド戦記I 影との戦い』、フロイト『無気味なもの』、宮澤賢治『注文の多い料理店』、鷺田清一『「聴く」ことの力』、福岡伸一『生物と無生物のあいだ』など)
3. 図書館ツアー
4. 作品講読(毎回違う作品の一部のコピーを三色ボールペン方式で読む)
5. 作品講読
6. 作品講読
7. 作品講読
8. 作品講読
9. 作品講読
10. グループ分け、テーマ選定、文献に基づいた発表の準備、ディスカッション、レジュメ作成、文献検索

ン、レジュメ作成、文献検索

11. 発表準備、ディスカッション

12. ディスカッション

13. ディスカッション

14. グループ発表

15. グループ発表

Reference) 依岡隆児『読書のススメ～四国から、グローバルに』(徳島新聞社)

Evaluation Criteria) 授業への取り組み(出席・発表など)により総合的に評価します。

Re-evaluation) 有

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221135>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Yorioka (1308, +81-88-656-7143, yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 火曜日 12時から 13時)

Note)

- ◇ 紹介された本は各自が生協や本屋、図書館などで手に入れておいてください。
- ◇ 本授業題目は20年度、21年度入学者(適用年度)が対象となります。
- ◇ 25人で受講者調整